

平成 30 年度ふじみん号運行の評価・検証

【本格運行の目標（評価基準）】

○ 1 年間の公費負担率(※ 1)：公費負担率が 85%未満(※ 2)⇒ 77.0%(12 月末時点 達成見込み！)

※ 1 公費負担率＝(運行経費－運賃収入等)÷運行経費(初期導入費を含まない経常経費)×100

※ 2 市民アンケート調査等を基に、本計画で試算した結果

○ 1 便当たり平均利用者数：2.7 人 ⇒ 5.0 人(12 月末時点) 達成見込み！

※日平均利用者数 135 人÷49 便(4 ルート合計)＝2.76 人/便

1 コース別月別利用者数（総括）

○平成 30 年 10 月実績を以て延利用者数は 52,133 人となり、目標の 48,465 人を 5 ヶ月前倒して達成した。

○9 ヶ月間の延利用者数は 66,172 人で、1 便平均利用者数は 5.0 人となり目標の 2.7 人を達成する見込みである。なお、8 月が 5.66 人とピークとなっている。

○前年同期(平成 29 年 4 月～12 月)の延利用者数は 51,507 人であったため、前年同期比約 127%となっている。

○コース別に見ると、A・B・C 東原先回りコースで目標を達成しており、C 旭住宅先回り・D コースで目標未達成となっている。

2 コース別ダイヤ別利用者数

○A コースは各ダイヤとも万遍なく利用され、8 人/便以上と多くなっている。

○B コースは新駒林先回りが水宮先回りと比べ利用が多くなっている。

○C コースは午前中の利用は多く、午後は比較的少なくなっている。

○D コースは目標未達成であるが、前年と比べ利用者が増えている。

○モニタリング便は 5 便全て目標未達成となっている。

